

— 大樹町宇宙航空課ニュースレター —

Taiki Aerospace News

大阪・関西万博 銀河連邦ブース出展！

5/28～6/2内閣府主催の「地方創生SDGsフェス in 大阪・関西万博2025」に相模原市が主体となり、銀河連邦ブースの出展を行いました！

ブースには、「マインクラフト 月面ローバーレース」、「宇宙VR体験」「フォトスポット」などを用意し、子どもから大人まで、幅広い年代の方々に楽しんでいただきました。クリアできなかったのが悔しくて、3回挑戦した方もいました。

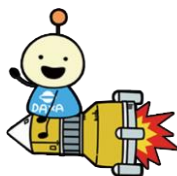
また、1時間に1回JAXA研究者によるミニ講演会を実施しました。講演後、銀河連邦に興味を持っていただいた10数名の方々に個々で大樹町について紹介しました。ほとんどの方が大樹町に来たことがなく、宇宙産業・自然に大変関心を持っていました。ぜひ大樹町に行ってみたい！といった感想を多くいただくことができました。



宇宙でも天気予報が必要？ ～今日のなんちゃら雑学～

宇宙でも地球のように天気予報が必要って聞くけど、それは何のためだろう？

宇宙の天気予報で特に注目しているのは『宇宙嵐』と呼ばれるものだよ！宇宙嵐は太陽風より強いエネルギーで、人工衛星だけじゃなくて、地上の発電所にも影響を及ぼすことがあるから、停電する可能性もあるんだよ～



DAXAくん
©S/O2

第25回ペットボトルロケットコンテストin大樹の開催について

8月3日（日）に「歴舟川清流まつり」のイベントとして「ペットボトルロケットコンテストin大樹」を開催します。

「宇宙のまち」ならではの恒例行事となっており、今回で25回目を迎えます。

競技内容は、ロケットのサイズ、打上げ角度、ポンピング回数を定めた「規定競技」、規定のない「自由競技」、機体のデザインを審査する「デザイン競技」の3部門です。

7月22日（火）には、コンテストに向けた「ペットボトルロケット製作教室」を大樹町福祉センターで開催しますので、興味のある方はぜひお申込みください。



ペットボトル
コンテスト
参加申込は
こちらから



企業版ふるさと納税の感謝状贈呈式の実施しました

5月23日（金）大樹町宇宙交流センターSORAにて、企業版ふるさと納税の感謝状贈呈式を実施しました。令和6年5月から令和7年3月までの間に、2億5,140万円のご寄附をいただいた59社の企業のうち、34社が参加し、黒川町長から感謝状を贈呈しました。

感謝状の贈呈に加え、各企業様から北海道スペースポートプロジェクトに対する応援コメントをいただいたほか、写真撮影を行いました。

終了後は、町長が各企業の皆様をご案内し、LC1を見学いただきました。

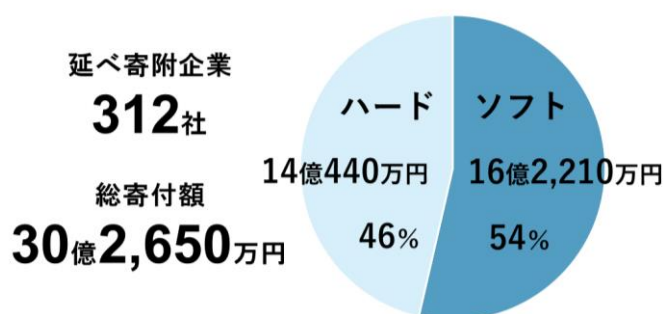


企業版ふるさと納税 新たに27社 1億円の寄附

北海道スペースポート（HOSPO）プロジェクトの資金として、2025年1月から3月までの間に、北海道内外の27社から企業版ふるさと納税で合計1億540万円の寄附をいただきました。

町では、ロケット射場など北海道スペースポートの施設を拡充する「ハード整備」と、町内の宇宙関連企業をサポートする「ソフト支援」の2本柱でHOSPOプロジェクトを推進しています。寄附金は、現在工事を進めている人工衛星用ロケット射場

「Launch Complex1(LC1)」の整備資金やインターステラテクノロジズへの支援などに活用します。今回の寄附により、2020年度～2024年度までの合計で、プロジェクト全体で延べ312社から30億2,650万円（内訳 ハード：14億440万円、ソフト：16億2,210万円）のご支援となりました。



インターステラテクノロジズと打上げに向けた基本合意書を締結

2025年6月12日、ロケット事業と通信衛星事業を通じた宇宙の総合インフラ会社を目指すインターステラテクノロジズ株式会社と、人工衛星打上げ用の発射場の優先事業者として、打上げに向けた基本合意書を締結しました。今後、詳細契約に向けた協議を進めます。

